

10月

## 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## 熊本市でも風しんの発生がありました

現在、関東地方を中心に風しんが流行していますが、熊本市でも10月25日以降に4件の風しん報告がありました。40～50代の男性が多く、いずれも予防接種歴がない、または不明でした。

風しんの予防には、**予防接種による免疫の獲得が有効です**。30～50代の男性では、予防接種率が低く、風しん抗体価が低い方が2割程度存在していることが分かっています。抗体の有無や予防接種を受けたことがない方は、検査や予防接種を受けることを検討してください。(一部費用助成制度があります。最寄りの保健所へお問合せください。)

## ◆妊婦さんご注意を!!

免疫が不十分な妊婦(特に妊娠20週頃まで)が風しんに感染すると、目や心臓、耳等に障害を持つ子どもが生まれることがあります(先天性風しん症候群)。妊婦は風しんの予防接種を受けられないため、免疫が不十分な妊婦は、可能な限り人ごみを避け、不要不急の外出を控えましょう。また、パートナーなど周囲の方もかからないようにしましょう。

## ◆医療機関の皆様へ

臨床症状から風しんと診断または疑った場合は、**直ちに最寄りの保健所へ**ご連絡いただくとともに、感染拡大防止のための対応をお願いいたします。  
※すぐに、行政検査(PCR検査)にて対応いたします。



## ◆風しんってどんな病気?

風しんは、飛沫感染により人から人へうつる感染症です。比較的感染力が強く、感染すると約2～3週間後に発熱や全身の発しん、リンパ節のはれなどが生じますが、症状が出ないこともあります。特に大人では、高熱や発しんが長く続いたり、関節痛を認めるなど、子どもに比べて重症化することがあります。

期 間		平成30年 42週		平成30年 43週	
		10/15～10/21		10/22～10/28(最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	5	0.20	17	0.68
RSウイルス感染症	↑	8	0.50	15	0.94
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	6	0.38	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ⚠	↑	19	1.19	25	1.56
感染性胃腸炎 ⚠	↑	66	4.13	91	5.69
水痘(みずぼうそう)	↓	3	0.19	1	0.06
手足口病	↓	12	0.75	10	0.63
伝染性紅斑(りんご病)	↓	2	0.13	0	0.00
突発性発しん	↓	6	0.38	4	0.25
ヘルパンギーナ	↓	5	0.31	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↓	11	2.20	9	1.80
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	1	0.20